

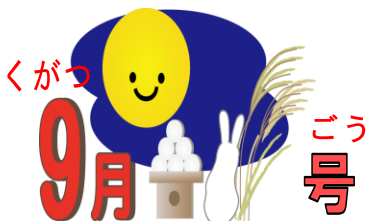



かわのえ

りんぽかん

隣保館だより

きっさ
ふれあい喫茶



ねん がつ ほんごう
2017年9月発行
かわのえりんぽかん
川之江隣保館 
TEL 28-6254
FAX 28-6254

7月のふれあい喫茶は、ボランティアスタッフを含めて、19名の参加です。パンとサラダ、ゆでたまご、杏仁豆腐でおなかいっぱいになった後は、「笑いヨガ」を楽しみました。講師の先生から大きな声で笑うことで悪いものを吐き出し、考え方が前向きになり、「若返り効果」があることを教えてもらいました。参加した方は「今日は足の冷えがなかった！」と早速効果を感じていました。これからも笑顔の溢れる隣保館に向けて「来て良かった」と思ってもらえるイベントを考えたいと感じました。

主事 藤田 啓介

がつ ぎょうじよてい
9月 行事予定

日(にちようび)	月(げつようび)	火(かようび)	水(すいようび)	木(もくようび)	金(きんようび)	土(どようび)
					1	2
3	4 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	5 たいきよけん ・太極拳	6 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) しゅげいきょうしつ よる ・手芸教室(夜)	7	8 きつき ・ふれあい喫茶	9 きゅうじつかいかん び 休日開館日 しきじがっきゅう ・識字学級 しゅげいきょうしつ ひる ・手芸教室(昼) から おけきょうしつ ・カラオケ教室 じよせいりょうりきょうしつ ・女性料理教室
10	11 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり) じんけん ひ がくしゅうかい ・人権の日学習会	12 たいきよけん ・太極拳	13 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー)	14	15	16
17	18 けいろう ひ 敬老の日	19 たいきよけん ・太極拳	20 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) しゅげいきょうしつ よる ・手芸教室(夜) しよぎょうそうだん ・職業相談	21 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	22	23 しゅうぶん ひ 秋分の日
24 きゅうじつかいかん び 休日開館日 しきじがっきゅう ・識字学級 せいめいそんちようどくしよかい ・生命尊重読書会 じへいしよはったつしよがい ・自閉症発達障害 しえんがくしゅうかい 支援学習会 ・キッズプラス	25 ちよきんたいそ ・貯筋体操(ひまわり)	26 たいきよけん ・太極拳	27 ちよきんたいそ ・貯筋体操(スイートピー) しゅげいきょうしつ ひる ・手芸教室(昼)	28	29	30

りんぽかん じんけんそうだん しょくぎょうそうだん おこな
○隣保館では、人権相談や職業相談を行っています。

なや
悩んでいることはありませんか？

りんぽかん じんけん かか なや そうだん まどぐち
隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。

とど しょうい しやくしょ き
「届いた書類がわからない」、「市役所のどこに聞けばいいかわからない。」など何でも相談してください。

まいつきはつ か じゅんかいそうだん
なお、毎月20日は、ハローワークからの巡回相談を行っています。

はつ か きゅうじつ ぜんご れんらく
(20日が休日のときは前後しますので連絡してください。)

れんらくさき かわのえりんぽかん
連絡先 0896-28-6254 (川之江隣保館)

☆☆☆☆ ひなんくんれん おこな がつ にち きんようび
避難訓練を行いました。(7月21日 金曜日) ☆☆☆☆

ちょきんたいそう かつどうちゆう かいせいかつかいぜんしつ しゅつか
貯金体操ひまわりさんの活動中に1階生活改善室から出火！

りんぽかんしょくいん ゆうどう したが ひと
隣保館職員の誘導に従い、けがをした人もおらず、スムーズに
ひなん
避難することができました。

こんご りんぽかんりようちゆう ひなんくんれん きょうりよく
今後も隣保館利用中の避難訓練にご協力ください。

じんけん ひがくしゅうかい さんか
「人権の日学習会」にご参加ください。

まいつき にち じんけん ひ がくしゅうかい
毎月11日の人権の日に学習会をしています。

きがる さんか
お気軽にご参加ください。(19時30分～21時)

さんか
○だれが参加しているの？

さんか だれ じゆう さんか
参加したいときに、誰でも自由に参加できます。

もう こ
申し込みはいりません。

はな
○どんなことを話しているの？

どうわもんだい じんけんもんだい
同和問題をはじめ、あらゆる人権問題につ

いて参加者が「知りたいこと」「やってみたいこと

と」を話し合って学習の内容を決めています。

い
○どこへ行けばいいの？

かわのえりんぽかん
川之江隣保館にいらしてください。

が かつ にち げつようび じんけん
9月11日(月曜日)の人権

ひがくしゅうかい が かい
の日学習会は、12月に開

さい ぜんこくじんけん どうわ
催される全国人権・同和

きょういくけんきゅうたいかい はっぴょう
教育研究大会で発表

される実践報告を通して

じんけん どうわきょういく まな
人権・同和教育の学びを

ふか
深めます。

はっぴょうしゃ
《発表者》

しきょういくいいんかいしょうがいがくしゅうか
市教育委員会生涯学習課

かわかみ ゆうじ
川上 祐志さん

しこくちゆうおうしりつしみみなみちゅうがっこう
四国中央市立三島南中学校

いしばし のりこせんせい
石橋 範子先生

～伝える思い～

《PTA地区別懇談会に参加して》

市内の小学校では、地区別懇談会として夏休み前に、学校からプール当番や帰宅時間など夏休み中の子どもたちの生活のルールについて説明があった後、人権・同和教育研修をしています。私も保護者として参加しました。

学校からの夏休み中の説明が終わり「そんなの気にしない」という同和問題をテーマとしたビデオを視聴しました。そして小グループに分かれての意見交換では、参加者から物語の中での発言や行動、主人公の心の変化などについての感想や意見が出されました。その中で、「部落差別は、教えるから無くないのではないのか。教えなければいい。」という発言がありました。

私は、正しい知識や理解がなければ、知らず知らずの内に、自分には差別する気持ちは無くても差別する言葉や態度をとってしまうことになる。そして自分の子どものことを考えてほしい、「何も学んでいなければ、自分の子どもが知らないことが原因で差別者になってしまってもいいんですか？」と保護者に投げかけました。自分の子どもと重ねることで発言された方も他の参加者も同和教育の大切さについて考えてくれたように感じました。

私も数年前までは、「寝た子を起こすな。」という考えを持っていましたが、市の人権・同和教育研修やたくさんの人との出会いを重ねる中で、結婚差別は、昔の話ではないことや、子ども会では差別にあったときに差別に負けない強い心を育てていることなどを知ることができ、何も知らなかった自分に気づくことができました。そして今では「正しいことを知る」ということが差別解消の入り口だと考えるようになりました。

部落差別をはじめ、障がい者差別や外国人差別、女性差別など偏見が生み出す差別がまだまだあります。これからも研修や学習の機会、人との出会いを通して正しい知識を身につけ、「間違い」を「間違いだ」と伝えることができるように学び続けていきます。